

## 上映会

# 「川崎の記録 ―記録映像でみる、川崎のうつりかわり― 麻生区編」 を開催します

川崎市市民ミュージアムは、令和8年7月24日(金)に川崎市アートセンターにて上映会「川崎の記録 ―記録映像でみる、川崎のうつりかわり― 麻生区編」を開催します。

地域を映した記録映像は、かつての風景や人々の営みを今に伝える貴重な資料です。上映会「川崎の記録」では、川崎の変遷を捉えた記録映像を区ごとに取り上げており、今回は麻生区に残る歴史や文化に焦点を当てた映像作品を紹介するとともに、本編上映前にニュース映画「神奈川ニュース」から、麻生区にまつわるトピックも併せて上映します。

また、同日、御自宅にあるホームムービーなどの保管に関する講座も開催します。



ふるさとあさおシリーズより①『時を越えて 麻生に伝わる郷土芸能』②③④『石仏は語る』

### 開催概要

日時：令和8年7月24日(金) 13:00～15:00 (受付開始 12:30)

会場：川崎市アートセンター 2階 小劇場 (〒215-0004 川崎市麻生区万福寺 6-7-1)

定員：150名 ※事前申込制(申込多数の場合は抽選)、自由席

料金：無料

申込期間：令和8年6月16日(火) 10:00～7月16日(木) 16:00 ※ハガキは16日(木)必着

申込方法：川崎市市民ミュージアムWebサイトのイベントページ、または往復ハガキにて申込み

※上映会・同日開催の講座を同時に申込可能

▼申込・イベントWebサイト

<https://www.kawasaki-museum.jp/cinema/34257/>



主催：川崎市市民ミュージアム

共催：公益財団法人川崎市文化財団(川崎市アートセンター)

協力：麻生区役所

## 【作品情報】

### ふるさとあさおシリーズ

麻生区の歴史や文化を掘り下げる記録映画のシリーズ。麻生区役所が企画し、制作は日本映画学校（現・日本映画大学）が手がけています。

※上映に合わせゲストによる解説も実施します。ゲスト：小林 基男<sup>こばやし ちとあ</sup>氏（柿生郷土史料館専門委員）



#### 『石仏は語る』（1997年ごろ/27分/16ミリフィルム）

黒川・早野・下麻生などに伝わる念仏講を取り上げた映像。人々が集い念仏を唱える様子から、信仰が暮らしに根付いていたことがうかがえます。



#### 『時を越えて 麻生に伝わる郷土芸能』（1992年/23分/16ミリフィルム）

高石・王禅寺・細山などに伝わるお囃子の歴史を、保存会へのインタビューや実演から紐解いていきます。リズムカルなお囃子が賑やかな映像です。

企画：川崎市麻生区役所/ふるさとあさお映画製作委員会

制作：日本映画学校（現・日本映画大学）

## 同日開催

### 講座「ホームムービー どう残す？」

御自宅に保管されている8ミリフィルムやビデオテープなどの視聴覚資料は、再生機器の生産終了や経年劣化により将来的に視聴できなくなる可能性があるため、対策が必要です。

本講座では、大切な映像記録を将来へ残すために、視聴覚資料の適切な保管方法やデジタル化について学びます。

日 時：令和8年7月24日（金）15:30～16:30（受付開始 15:15）

会 場：川崎市アートセンター 1階 工房（〒215-0004 川崎市麻生区万福寺 6-7-1）

定 員：15名 ※事前申込制（申込多数の場合は抽選）

料 金：参加無料

講 師：郷田 真理子<sup>ごうだ</sup>（川崎市市民ミュージアム 映画・映像スタッフ）

申込期間：令和8年6月16日（火）10:00～7月16日（木）16:00 ※ハガキは16日（木）必着

申込方法：川崎市市民ミュージアムWebサイトのイベントページ、または往復ハガキにて申込み

※上映会・講座同時に申込可能

#### ▼申込・イベント Web サイト

<https://www.kawasaki-museum.jp/event/34261/>



【次回開催】 令和8年11月8日（日）「川崎の記録 中原区編」を中原市民館で開催。

詳細は決まり次第 Web サイトにてお知らせいたします。

【問合せ先】川崎市市民文化局

川崎市市民ミュージアム 古泉<sup>こいづみ</sup>

電話：044-712-2800（外線のみ）